

## \* 深よみめんこちゃん \*

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、うさぎ組とぱんだ組のクラスからよみ解き、深堀していきます。

### ～うさぎ組～

### 「ここはどうか??」

救急車の裏にある電池が入っていた場所を開けて「電池ないね～」と言っていた子ども達。たまたま手にしていたブロックでそこをつつついているうちに、急に「直してあげる」と整備を始めました。玩具の哺乳瓶をオイルに見立て、液体を注入したり、ブロックをレンチに見立ててタイヤを閉めたりして、あちこちを点検。そして最後は「直ったから大丈夫」と満足そうに三人で笑顔を見せていました。

大人の行動を真似、場面や状況を再現できるようになったこと、日常の経験した出来事を記憶する力やイメージする力の育ちが遊びを豊かにしていることを嬉しく感じました。子ども達同士のやりとりを増やし、一緒に遊ぶのが楽しい!と思えるような経験を重ねていけるようにしたいと思った一コマでした。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

**友達と関わりながらイメージを膨らませて表現する力を育ててほしいな!**

### ～ぱんだ組～

### 「さわれたよ！」

トンボを捕まえた友達を見て「ほしいなあ」とつぶやくIさんとAくん。その声を聞き、一人の保育士が「どうぞ」と言って二人に捕まえたトンボを手渡してくれました。二人は「ありがとう」とお礼を言い、トンボに触られたことを他の保育士に知らせて喜びを表していました。少しして、Iさんが持っていたトンボを使ってAくんの後ろから「みつけた」と声を掛け、かくれんぼを始めました。

自分ではなかなか捕まえることが難しいトンボを保育士に捕まえてもらい、直接触れることで昆虫への興味を深め、虫を介して遊びが広がったり、友達や保育士との言葉でのやりとりにつながったりしています。これを機会に今度は自分で捕まえることができるよう、一緒に昆虫探しをして捕まえ方を伝えたり、捕まえられた時や捕まえられなかった時の喜びや悔しい気持ちを共有したりして秋の自然物に触れて遊びたいと思います。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

**秋の自然と触れ合う中で、身近な生き物に興味や関心をより深めてほしいな!**